



URA

Global X Uranium ETF
グローバルX ウラニウム ETF

運用報告書（全体版）

2023年10月31日に終了する計算期間

免責事項

この運用報告書はグローバルXファンズの2023年10月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この運用報告書および上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」または「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指す。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルである。
2. 本書において、米ドルの円貨換算は、2024年5月23日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客直物電信売買相場仲値（1米ドル=156.92円）による。別段の記載がある場合を除き、かかる計算から生じる金額につき、1円または1百万円未満の端数を四捨五入する。なお、米ドルの円貨換算は、原文には含まれておらず、監査報告その他本書面上の報告の対象たる財務諸表を構成するものではない。

2024年5月31日

金融庁長官 殿
発行者

受益証券発行者名	グローバルXファンズ (Global X Funds)
代表者の役職氏名	プレジデント トーマス・パク (Thomas Park, President)
本店の所在地	ニューヨーク州 10022、ニューヨーク、レキシントン・アベニュー600 (600 Lexington Avenue, New York, New York 10022)
代理人の氏名又は名称	弁護士 樋口 航
代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
事務連絡者氏名	弁護士 樋口 航
事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
電話番号	(03)6775-1142

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書

投資信託及び投資法人に関する法律第 59 条において準用する同法第 14 条の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書を提出します。この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

目 次

本書の記載事項の説明	4
ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察（未監査）	6
投資一覧	9
貸借対照表	12
損益計算書	13
純資産変動計算書	14
財務ハイライト	15
財務諸表に対する注記	16

本書の記載事項の説明

1. ファンドの仕組み

「ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察（未監査）」および「財務ハイライト」等を参照。なお、2023年10月31日終了の計算期間中の本ファンドのシェア1口当たりの純資産価額は以下のとおりであり、また当該計算期間中に支払われた配当の総額はシェア1口当たり0.049172ドル（8円）であった。

通貨	2022年 11月30 日	2022年 12月30 日	2023年 1月31 日	2023年 2月28 日	2023年 3月31 日	2023年 4月28 日	2023年 5月31 日	2023年 6月30 日	2023年 7月31 日	2023年 8月31 日	2023年 9月29 日	2023年 10月31 日
ドル	21.09	20.11	22.93	21.03	19.95	20.01	19.69	21.69	22.63	23.92	27.29	26.50
円	3,309	3,156	3,598	3,300	3,131	3,140	3,090	3,404	3,551	3,754	4,282	4,158

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察（未監査）」および「財務ハイライト」等を参照。

4. ファンドの経理状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」、「財務ハイライト」および「財務諸表に対する注記」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「損益計算書」および「財務諸表に対する注記」等を参照。

6. 計算期間の末日における純資産額計算書

「貸借対照表」および「純資産変動計算書」等を参照。

7. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察（未監査）」および「投資一覧」等を参照。

ファンドのパフォーマンスに関する経営陣による考察（未監査）

グローバルX ウラニウム ETF

グローバルX ウラニウム ETF（以下「本ファンド」という。）は、ソラクティブ・グローバル・ウラニウム&原子力コンポーネント・トータルリターン・インデックス（Solactive Global Uranium & Nuclear Components Total Return Index）（以下「対象インデックス」という。）の価格およびイールドのパフォーマンス（手数料および費用控除前）に連動する投資成果を提供することを目指す。本ファンドは、パッシブ運用を行っている。つまり、投資アドバイザーは、後退している市場において防衛的なポジションを模索しない。本ファンドは、原則として対象インデックスを完全に複製することを目指す。

対象インデックスは、対象インデックスの提供者であるソラクティブ・アーゲー（Solactive AG）が定義するウラン産業に携わる（または近い将来携わることが見込まれる）銘柄の株価の動きを捕捉する。ウラン産業には、特にウランの採掘、探査、ウラン投資およびウラン産業関連技術が含まれる。

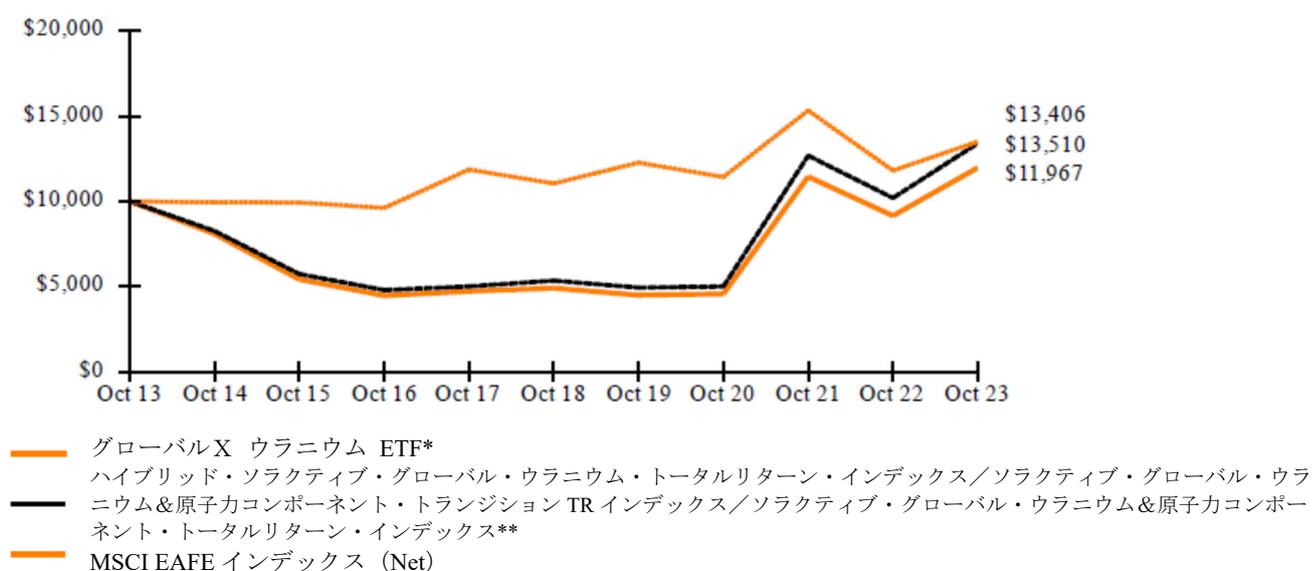
2023年10月31日に終了した12か月間（以下「報告期間」という。）において、対象インデックスが31.49%上昇した一方で、本ファンドは30.86%上昇した。本ファンドの純資産額は2022年10月31日時点で、一口当たり20.30ドルであり、2023年10月31日時点において同26.50ドルで報告期間を終了した。

報告期間中、最もリターンが高かったものは、CGN Mining Co Ltd および Cameco Corp であり、それぞれ75.91%と73.17%のリターンであった。最もパフォーマンスが低調だったものは、Nuscale Power Corp および American Lithium Corp であり、それぞれ-68.29%と-66.76%のリターンであった。

報告期間中の本ファンドは、原子力エネルギーに対する需要の増加および地政学的緊張によりウラン価格が上昇したことにより、プラスのリターンとなった。報告期間中の既存の生産能力が、強気な長期需要に応えるには十分ではないという懸念は、ウラン価格を支える要因となった。地政学は、米国がロシアからのウランの購入を禁止したため、ウラン価格を支える近年のもう一つの要因であり、西側諸国で稼働している少数の転換業者および濃縮業者の資源を負担するシナリオであった。また、Cameco の方針の更新およびニジェールのクーデターは、供給の信頼性問題を引き起こした。大手ウラン採掘業者であり、報告期間中の本ファンドの保有銘柄であった Cameco は、2023年のシガーレイク鉱山およびマッカーサーリバー鉱山での生産方針の削減を発表した。ニジェールのクーデターは、欧州連合の電力のかなりの部分が原子力発電により供給されているため、欧州の能力を脅かした。こうした動向は、ウラン価格に上昇圧力を及ぼし、報告期間中の本ファンドのパフォーマンスに好影響となった。当期中、本ファンドはエネルギーセクターへのエクスポージャーが61.44%と最も高く、次いで資本財セクターへのエクスポージャーが21.29%であった。

	2023年10月期平均年間トータル・リターン							
	1年		3年		5年		10年	
	純資産額	時価	純資産額	時価	純資産額	時価	純資産額	時価
グローバルX ウラニウム ETF	30.86%	33.20%	37.88%	38.72%	19.55%	20.01%	1.81%	1.80%
ハイブリッド・ソラクティブ・グローバル・ウラニウム・トータルリターン・インデックス/ソラクティブ・グローバル・ウラニウム&原子力コンポーネント・トランジション TR インデックス/ソラクティブ・グローバル・ウラニウム&原子力コンポーネント・トータルリターン・インデックス**	31.49%	31.49%	38.92%	38.92%	20.19%	20.19%	2.97%	2.97%
MSCI EAFE インデックス (Net)	14.40%	14.40%	5.73%	5.73%	4.10%	4.10%	3.05%	3.05%

投資額 10,000 ドルの成長推移 (純資産ベース)



*本ファンドは、2010年11月4日に運用を開始した。

**ハイブリッドインデックスのパフォーマンスは、2018年4月30日までのソラクティブ・グローバル・ウラニウム・トータルリターン・インデックスのパフォーマンス、2018年7月31日までのソラクティブ・グローバル・ウラニウム&原子力コンポーネント・トランジション TR インデックスのパフォーマンスおよびそれ以降のソラクティブ・グローバル・ウラニウム&原子力コンポーネント・トータルリターン・インデックスのパフォーマンスを反映している。これらの変更は、現地市場に対するより広範的なエクスポージャーを提供することを目的とした新たな対象インデックスへの計画移行によるものである。

MSCI EAFE インデックス (Net) (欧州・オーストラレーシア・極東) は、米国およびカナダを除く先

進国の株式市場のパフォーマンスを測定するよう設計された浮動株調整後の時価総額インデックスをいう。

本書で引用する実績データは、過去の実績であり、本ファンドに対する投資のリターンおよび価額は変動し、売却時には、その価値が当初の費用を下回ることがある。過去の実績は、将来のパフォーマンスを一切保証しておらず、本ファンドの将来の結果を表しているものとみなされるべきではない。本ファンドのパフォーマンスは、すべての配当およびキャピタル・ゲインの再投資を前提としている。インデックスのリターンは、配当の再投資を前提としているが、本ファンドとは異なり、手数料および費用を考慮していない。かかる手数料および費用をインデックスのリターンに含めた場合、パフォーマンスは低下する。インデックスそのものには直接投資できないことに留意されたい。上記期間におけるパフォーマンス数値は、契約上の報酬免除および／または費用の償還を反映している場合がある。報酬の免除および／または費用の償還（該当する場合）がなかった場合には、リターンはさらに低くなることとなる。

本ファンドが規定の目的を達成する保証はない。

本ファンドの保有銘柄および配分は、変更される場合があり、個別の銘柄の購入を推奨するものとはみなされない。

上記のグラフおよび表は、本ファンドの分配、または本ファンドのシェアの償還もしくは売却に関してシェア保有者が支払う税金の控除前のものである。

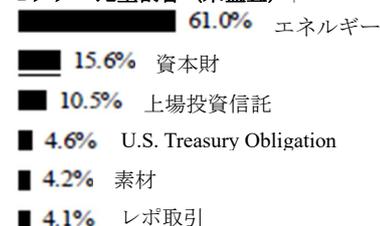
上記の比較対象インデックスの定義を参照。

投資一覧

グローバルX ウラニウム ETF (URA)

2023年10月31日

セクター比重割合 (未監査) †



† セクター比重割合は、投資の市場価格総額に基づいている。投資総額は、該当する場合には、オプション、先物取引、先渡契約、およびスワップ契約などのデリバティブを除く。

銘柄	株式数/額面金額	価額
普通株式 - 88.5%		
オーストラリア - 12.4%		
エネルギー - 9.3%		
Alligator Energy* ^(A)	164,641,278	5,212,146
Aura Energy* ^(A)	23,430,067	4,376,263
Bannerman Energy* ^{(A)(B)}	7,989,002	12,949,123
Berkeley Energia* ^(A)	21,940,764	4,696,275
Boss Energy* ^(B)	17,957,532	49,117,727
Deep Yellow* ^(A)	35,838,768	28,477,684
Elevate Uranium* ^(A)	11,896,777	2,899,999
Paladin Energy* ^(B)	150,549,277	90,077,920
Peninsula Energy* ^(B)	68,172,215	5,179,604
エネルギー合計		202,986,741
資本財 - 0.9%		
Silex Systems*	9,544,031	19,397,454
素材 - 2.2%		
Anson Resources* ^(A)	54,296,348	5,672,343
BHP Group	1,165,145	32,828,259
Lotus Resources* ^(A)	55,192,656	8,037,426
素材合計		46,538,028
オーストラリア合計		268,922,223
カナダ - 40.5%		
エネルギー - 38.1%		
Cameco	12,800,726	523,093,957
Denison Mines* ^(A)	45,108,444	72,134,519
Encore Energy* ^(A)	7,625,771	25,323,108
F3 Uranium* ^(A)	18,583,212	5,019,776
Fission Uranium* ^(A)	34,345,524	23,008,347
GoviEx Uranium, Cl A* ^(A)	35,031,118	4,037,442
IsoEnergy* ^(A)	2,925,488	7,923,526
Laramide Resources* ^(A)	10,979,559	4,903,531
Mega Uranium*	17,461,713	4,339,486
NexGen Energy*	23,471,088	141,511,260
Skyharbour Resources*	8,109,352	3,271,195
Uranium Royalty* ^(A)	4,529,537	12,953,187
エネルギー合計		827,519,334
資本財 - 1.1%		
Aecon Group ^(A)	3,340,066	24,540,733
素材 - 1.3%		
American Lithium* ^(A)	11,522,158	13,943,616
Global Atomic* ^(A)	9,971,154	14,939,673
素材合計		28,883,289
カナダ合計		880,943,356
中国 - 1.2%		
エネルギー - 1.2%		

財務諸表に対する注記は、財務諸表の不可欠な一部である。

銘柄	株式数/額面金額	価額
CGN Mining ^(A)	159,850,900	26,149,471
日本 - 3.3%		
資本財 - 3.3%		
ITOCHU	915,723	32,488,228
Mitsubishi Heavy Industries	790,684	40,159,407
日本合計		72,647,635
カザフスタン - 6.7%		
エネルギー - 6.7%		
NAC Kazatomprom JSC GDR	3,589,924	145,391,922
南アフリカ - 1.2%		
素材 - 1.2%		
Sibanye Stillwater	20,095,277	25,619,015
韓国 - 7.9%		
資本財 - 7.9%		
Daewoo Engineering & Construction*	9,699,670	28,225,318
Doosan Enerbility*	2,587,851	25,714,680
GS Engineering & Construction	3,056,169	29,779,856
Hyundai Engineering & Construction	1,168,131	28,888,657
KEPCO Engineering & Construction	625,247	24,212,667
Samsung C&T	435,970	34,443,744
韓国合計		171,264,922
英国 - 3.4%		
資本財 - 3.4%		
Yellow Cake ^(B)	10,909,077	73,071,357
米国 - 11.9%		
エネルギー - 11.5%		
Centrus Energy, CI A*	680,111	36,093,491
Energy Fuels ^{(A)(B)}	8,560,490	68,385,258
Uranium Energy ^(B)	20,538,171	122,202,117
Ur-Energy ^{(A)(B)}	14,080,774	22,951,661
エネルギー合計		249,632,527
資本財 - 0.4%		
NuScale Power ^(A)	3,066,799	10,365,781
米国合計		259,998,308
普通株式合計		
(取得費: \$1,711,765,926)		1,924,008,209
上場投資信託 - 11.4%		
Sprott Physical Uranium Trust ^(A)		
(取得費: \$176,277,619)	13,759,221	248,870,188
U.S. Treasury Obligation - 5.0%		
U.S. Treasury Bill		
5.400%, 02/01/24 ^(C)		
(取得費: \$108,519,354)	110,000,000	108,505,098
レポ取引^(D) - 4.5%		
BNP Paribas		
2023年10月31日現在 5.210%、2023年11月1日に再取得予定、再取得価額: \$97,624,523 (U.S. Treasury Obligations に担保され、額面価額は\$2,075,566 から\$12,868,533、2.000%から 4.000%、2025年2月15日から 2026年2月15日、時価総額は\$99,416,403)		
(取得費: \$97,610,396)	97,610,396	97,610,396
投資総額 - 109.4%		
(取得費: \$2,094,173,295)		2,378,993,891

割合は純資産 2,175,005,586 ドルに基づく。

* 非収益性証券

(A) 証券またはその持ち高の一部は、2023年10月31日現在、貸し付けられている。2023年10月31日現在、貸付証券の時価総額は 89,600,381 ドルである。

(B) 関連投資

(C) 投資一覧記載の利率は、購入時の実効利回りである。

(D) 証券は、貸付証券からの現金担保で購入された。2023年10月31日現在、かかる証券の総価額は 97,610,396 ドルである。2023年10月31日現在、貸付証券からの非現金担保の総価額は—ドルである。

以下は、価額で計上される本ファンドの証券の評価に際し、2023年10月31日現在に用いられたインプットのレベルの概要である。

証券投資	レベル1	レベル2	レベル3	合計
------	------	------	------	----

財務諸表に対する注記は、財務諸表の不可欠な一部である。

普通株式	\$	1,924,008,209	\$	—	\$	—	\$	1,924,008,209
上場投資信託		248,870,188		—		—		248,870,188
U.S. Treasury Obligation		—		108,505,098		—		108,505,098
レボ取引		—		97,610,396		—		97,610,396
証券投資総額	\$	2,172,878,397	\$	206,115,494	\$	—	\$	2,378,993,891

以下は、2023年10月31日終了の計算期間中に行われた関連ファンドとの取引の概要である。

2022年 10月31日 現在の価額	購入価額	売上収益	未実現増価 (減価)の 変動	実現利益 (損失)	2023年 10月31日 現在の価額	配当金	キャピタル ゲイン
Bannerman Energy							
\$10,098,092	\$3,143,049	\$(2,280,826)	\$2,180,880	\$(192,072)	\$12,949,123	\$—	\$—
Boss Energy							
\$28,757,838	\$12,292,484	\$(8,156,606)	\$13,815,291	\$2,408,720	\$49,117,727	\$—	\$—
Energy Fuels							
\$60,320,467	\$18,269,372	\$(15,903,996)	\$5,911,310	\$(211,895)	\$68,385,258	\$—	\$—
Paladin Energy							
\$76,964,381	\$25,111,671	\$(19,133,558)	\$3,923,962	\$3,211,464	\$90,077,920	\$—	\$—
Peninsula Energy							
\$5,558,922	\$2,959,321	\$(1,336,757)	\$(1,920,746)	\$(81,136)	\$5,179,604	\$—	\$—
Uranium Energy							
\$73,972,508	\$29,749,201	\$(15,816,223)	\$30,969,034	\$3,327,597	\$122,202,117	\$—	\$—
Ur-Energy							
\$14,759,804	\$6,655,532	\$(3,299,092)	\$5,078,570	\$(243,153)	\$22,951,661	\$—	\$—
Yellow Cake							
\$45,428,047	\$21,677,624	\$(10,749,567)	\$14,623,005	\$2,092,248	\$73,071,357	\$—	\$—
総額：							
\$315,860,059	\$119,858,254	\$(76,676,625)	\$74,581,306	\$10,311,773	\$443,934,767	\$—	\$—

「—」と記載されている場合、その額が0ドルまたは四捨五入して0ドルであることを表している。

財務諸表に対する注記は、財務諸表の不可欠な一部である。

貸借対照表

2023年10月31日

	グローバルX ウラニウム ETF
資 産	
投資（取得費）	\$1,641,533,399
現先取引（取得費）	97,610,396
関連会社への投資（取得費）	355,029,500
外国通貨（取得費／（取得益））	54
投資（評価額）	\$1,837,448,728*
現先取引（評価額）	97,610,396
関連会社への投資（評価額）	443,934,767
現金	2,073,121
未収配当金、未収利息および未収証券貸付収入	1,268,796
ブローカーからの未収入金	797,496
資産合計	2,383,133,304
負 債	
返還義務のある有価証券担保借入金	97,610,396
購入された投資有価証券の支払勘定	108,519,354
償還された本ファンドのシェアの支払勘定	797,496
投資アドバイザーに対する支払勘定	1,194,963
未払保管報酬	5,509
負債合計	208,127,718
純 資 産	\$2,175,005,586
純 資 産	
払込資本	\$2,527,345,369
分配可能収益（累積損失）合計	(352,339,783)
純 資 産	\$2,175,005,586
発行済受益権シェア（授権数の制限なし—無額面）	82,081,666
シェア1口当たり純資産価額、売出価格および償還価格	\$26.50

* 貸付証券の市場価格 89,600,381 ドルを含む。

財務諸表に対する注記は、財務諸表の不可欠な一部である。

損益計算書

2023年10月31日終了の計算期間

	グローバルX ウラニウム ETF
投資利益	
受取配当金	\$16,353,836
受取利息	102,368
証券貸付収入	2,889,388
外国源泉徴収税の控除額	(1,319,108)
投資利益合計	18,026,484
費用	
監督および管理報酬 ⁽¹⁾	11,095,324
保管報酬 ⁽²⁾	11,605
費用合計	11,106,929
正味投資利益	6,919,555
正味実現利益（損失）の内訳	
投資 ⁽³⁾	23,911,627
関連会社への投資	10,311,773
外国通貨取引	(315,610)
正味実現利益	33,907,790
未実現増価の正味変動額の内訳	
投資	340,258,858
関連会社への投資	74,581,306
外国通貨換算	24,000
未実現増価の正味変動額	414,864,164
実現および未実現の正味利益	448,771,954
運用による純資産の正味増加	\$455,691,509

(1) 監督および管理報酬は、アドバイザーにより提供される投資顧問業務に対して本ファンドが支払う報酬を含む。（財務諸表に対する注記の注記3を参照のこと。）

(2) 財務諸表に対する注記の注記2を参照のこと。

(3) 現物償還から生じた実現利益（損失）を含む。（財務諸表に対する注記の注記4を参照のこと。）

財務諸表に対する注記は、財務諸表の不可欠な一部である。

純資産変動計算書

	グローバルX ウラニウム ETF	
	2023年10月31日終了 計算期間	2022年10月31日終了 計算期間
運用		
正味投資利益	\$6,919,555	\$19,072,965
正味実現利益（損失）	33,907,790	(46,867,233)
未実現増価（減価）の正味変動額	414,864,164	(402,350,552)
運用による純資産の正味増加（減少）	455,691,509	(430,144,820)
分配	(3,660,937)	(74,869,077)
資本の払戻し	—	—
キャピタル・シェア取引		
発行済	510,536,160	1,082,750,695
償還済	(376,090,584)	(304,816,155)
キャピタル・シェア取引による純資産の増加	134,445,576	777,934,540
純資産の増加合計	586,476,148	272,920,643
純資産		
期首	1,588,529,438	1,315,608,795
期末	\$2,175,005,586	\$1,588,529,438
シェア取引		
発行済	21,870,000	44,260,000
償還済	(18,040,000)	(14,670,000)
シェア取引による発行済シェアの正味増加	3,830,000	29,590,000

財務諸表に対する注記は、財務諸表の不可欠な一部である。

財務ハイライト

記載期間を通じた発行済シェア 1 口についての要約データ

グローバルX ウラニウム ETF	2023 年	2022 年	2021 年	2020 年	2019 年
期首純資産額 (\$)	20.30	27.04	10.87	10.92	12.08
正味投資利益 (\$) *	0.09	0.28	0.39	0.22	0.17
投資に関する実現および未実現の正味利益 (損失) (\$)	6.16	(5.61)	15.91	(0.03)	(1.17)
運用による合計 (\$)	6.25	(5.33)	16.30	0.19	(1.00)
正味投資利益による分配 (\$)	(0.05)	(1.41)	(0.13)	(0.24)	(0.16)
キャピタル・ゲインによる分配 (\$)	—	—	—	—	—
資本の払戻し (\$)	—	—	—	—	—
分配による合計 (\$)	(0.05)	(1.41)	(0.13)	(0.24)	(0.16)
期末純資産額 (\$)	26.50	20.30	27.04	10.87	10.92
トータル・リターン (%) **	30.86	(20.11)	150.73	1.72	(8.42)
期末純資産 (単位: 1,000 ドル)	2,175,006	1,588,529	1,315,609	141,609	187,616
平均純資産に対する費用の比率 (%)	0.69	0.69	0.69	0.69	0.71
平均純資産に対する正味投資利益の比率 (%)	0.43	1.25	1.91	2.03	1.46
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 (%)					
††	20.03	26.47	30.01	59.21	23.93

* シェア 1 口当たりのデータは、平均シェア方式を用いて計算されている。

** トータル・リターンは当該期間のものであり、年換算されていない。記載のリターンは、本ファンドの分配または本ファンドの償還につきシェア保有者が支払う税金控除を反映していない。

†† ポートフォリオ・ターンオーバー比率は当該期間のものであり、1 年に満たない期間については、年換算されていない。現物譲渡は含まれていない。

「—」と記載されている金額は、0 ドルであるか、0 ドルに四捨五入されている。

財務諸表に対する注記は、財務諸表の不可欠な一部である。

財務諸表に対する注記

1. 設立

グローバルXファンズ（以下「本トラスト」という。）は、2008年3月6日にデラウェア州の制定法上の信託として設立された。本トラストは、1940年投資会社法（その後の改正を含み、以下「1940年法」という。）に基づき、オープンエンド型の運用投資会社として登録されている。2023年10月31日現在、本トラストは113のポートフォリオを保有し、その内108のポートフォリオが運用されている。本書に含まれる財務書類および関連する注記は、グローバルX ウラニウム ETF（以下「本ファンド」という。）に関するものである。本ファンドは、1940年法上の非分散型ファンドとしての分類を選択している。

2. 重要な会計方針

以下は、本ファンドが従う重要な会計方針の概要である。

見積りの利用

本ファンドは、米国の財務会計基準審議会がトピック 946 において発行した会計報告指針を採用する投資法人である。米国で一般に認められた会計原則（以下「米国 GAAP」という。）に従って財務諸表を作成するには、経営陣は、財務諸表の日付現在の資産および負債の計上額ならびに偶発資産・負債の開示内容や、報告期間中の業務による純資産の増加および減少の計上額に影響を与える一定の見積りおよび仮定を行う必要がある。実際の結果はこうした見積りと大きく相違することがある。

資本の払戻しの見積り

本ファンドが投資先のマスター・リミテッド・パートナーシップ（以下「MLP」という。）および不動産投資信託（以下「REIT」という。）への投資から受け取る分配金は、原則として利益および資本の払戻しからなる。本ファンドは、投資収益および資本の払戻しを、該当する分配金を受領した時点における見積りに基づいて計上する。その見積りは、MLP、REIT および業界のその他情報源から入手可能な過去の情報に基づくものである。見積りは、MLP および REIT の税務申告期間の終了後に MLP および REIT から受領する情報に基づいて事後的に更新される場合がある。

有価証券の評価

相場が随時利用可能な証券取引所もしくは市場に上場している、または株式店頭市場機械化システムに登録されている有価証券（NASDAQ株式市場（以下「NASDAQ」という。）で取引されている有価証券を除く。）は、店頭取引の有価証券を含め、主要な証券取引所または取引が行われている（国内外の）取引所での最終の（または、有価証券の主たる取引が通常その時刻に開始する場合、東部標準時午後 4 時頃に）成立した取引価格で、あるいはそのような成立した取引価格の報告がない場合、公正価格の近似値として、売呼値と買呼値との仲値（当該取引所に売呼値および買呼値の両方は存在しない場合、買呼値が使用される場合がある。）で評価される。NASDAQで取引される証券については、NASDAQの公式の終値が使用される。外国有価証券の価格は現地通貨で報告された上、報告日における為替レートを使用して米ドルに換算される。本トラストが評価に用いる為替レートは、ニューヨークまたはロンドンでの日々の終値とする。

その市場価格が「随時入手可能」ではない有価証券は、本ファンドの投資顧問であるグローバル・X・マネジメント・カンパニー・エルエルシー（以下「アドバイザー」という。）が定め、本トラストの受託者会（以下「受託者会」という。）が承認した公正価値の決定手順（以下「公正価値決定手順」という。）に従って評価される。1940年法の規則2a-5に従い、受託者会は、アドバイザーを、容易に入手できる市場相場がない証券およびその他の商品の公正価値を決定する「指定評価者」として指定している。公正価値決定手順は、アドバイザーの公正価値決定委員会（以下「委員会」という。）により実行される。公正価値決定手順を用いた有価証券価値の決定が必要となる一般的な理由としては、当該有価証券の取引が停止もしくは中断された場合、当該有価証券の主たる取引所において上場廃止となった場合、当該有価証券の主たる市場が通常であれば開いているはずの時間に一時的に開いていない場合、当該有価証券の取引が長期間行われていない場合、当該有価証券の主たる価格情報源が価格を提示できない、もしくはしない場合、または、当該有価証券の取引が現地政府が課す制限を受けている場合等が挙げられる。さらに、米国外で取引される本ファンドの有価証券の価値に重大な影響を与えるおそれがある事象（以下「重要事象」という。）が当該有価証券の最後の取引終了時点から本ファンドがその純資産額（以下「NAV」という。）を算出するまでの間に発生した場合、本ファンドは、その公正価値を決定することができる。重要事象は、単独の発行体に関するものである場合もあれば、市場セクター全体に関するものである場合もある。重要事象となりうる事象には、政府による措置、自然災害、武力紛争、テロ行為および市場における大きな変動が含まれる。アドバイザーがある有価証券または有価証券のグループに関して、当該有価証券の主たる取引が行われる取引所または市場の終了後、本ファンドがその純資産額を算出する時点までに発生した重要事象を認識した場合、アドバイザーは、委員会の招集を要請することができる。委員会は、公正価値決定手順に従って有価証券の価値が決定される際には、自ら合理的に入手可能なあらゆる関連情報を考慮した上でその価値を決定する。

債券は、利用可能な場合、独立した外部の価格決定事業者が提供する評価に基づき価格が決定される。かかる評価には原則として、当該有価証券が活発に取引されている場合、その報告された最新の売却価格が反映される。外部の価格決定事業者はまた、実際の市場取引、ブローカーが提供する評価、当該有価証券の市場価値を決定するために設計されたその他の方法を用いる手法を利用して評価された買呼値で債券の価値を決定する場合があります。満期までの残存期間が 60 日未満の債券は、市場価値で評価される。本ファンドが保有する有価証券の大部分について、その価格は広く認められている外部価格決定業者により日々提供される。本ファンドは、ある有価証券の価格が独立した外部の価格決定事業者から取得できない場合、1 社以上の外部ブローカーから買呼値の取得を試みる。

本ファンドは、公正価値の測定に関する権威ある指針および米国 GAAP に基づく開示に従い、公正価値の測定に用いられる評価手法へのインプットの順序に基づきその投資資産の公正価値を開示する。公正価値の測定の目的は、市場参加者同士の間での秩序だった取引において資産を売却して受領し、または債務を譲渡して支払われる測定日時点における価格（出口価格）を決定することである。したがって、公正価値のヒエラルキーでは同一の資産または債務についての活発な市場における相場価格（未調整）の優先順位が最も高く（レベル 1）、観測不能のインプットの優先順位が最も低い（レベル 3）。三層からなるインプットのヒエラルキーは、以下の 3 つのレベルにまとめられる。

レベル 1 — 同一の非制限資産または債務の、測定日時点で本ファンドがアクセス可能な活発な市場における未調整の相場価格

レベル 2 — その他の重要な観測可能なインプット（活発でない市場における相場価格、類似の投資対象の相場価格および本ファンドが測定日またはそれに近い期間でトランシェを NAV で全額償還可能な投資対象ならびに償却コストで評価される短期投資の公正価値等）

レベル 3 — 重要な観測不能なインプット（本ファンドの投資対象の公正価値決定における前提事項および本ファンドが測定日またはそれに近い期間ではトランシェを NAV で全額償還ができない投資対象の公正価値等）

投資は、公正価値の決定において、検討される最も低いレベルのインプットに分類される。その公正価値の測定において複数のインプットを考慮するレベル 3 に分類される投資は、公正価値測定の全体の一部にレベル 1 またはレベル 2 のインプットを含むことがある。投資区分の詳細については、投資一覧を参照のこと。

レベル 3 資産の公正価値の判断に使用される観測不能な各インプットは、評価に共通する

影響を与えることもあれば、相異なる影響を与えることもある。これらのインプット単独での大幅な増減および各インプットの相互関係は、公正価値の測定に非常に大きな上下幅をもたらすことがある。

ブローカーとの間の授受

ブローカーとの間の授受には、2023年10月31日時点の本ファンドの清算ブローカーまたは取引相手方との間で行われた現金および担保の差額のやり取りが含まれる。本ファンドは、取引の相手方である各ブローカーまたは取引相手方の信用状況を継続的に監視する。ブローカーまたは取引相手方がその義務を履行できない場合、本ファンドは、カウンターパーティに関する信用リスクに晒されることになる。

レポ取引

BNPパリバによるレポ取引の担保として提供されている有価証券は、ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー（以下「BBH」という。）またはバンク・オブ・ニューヨーク・メロン（以下「BNYメロン」という。）のいずれか該当する方が、本ファンドのカストディアン（以下、個別に、または総称して「本カストディアン」という。）として保有しており、帳簿システム上本ファンドのために本カストディアンにより保有されているものとされている。本ファンドは、日毎に担保の十分性を監視し、担保提供されている有価証券の市場価値がレポ取引の発生済利息を含む帳簿価値を下回る場合には相手方に追加の担保の提供を求めることができる。

アドバイザーが信用性があると判断する銀行等の金融機関とのみレポ取引を行うというのが、本ファンドの方針である。本ファンドは、レポ取引の相手方が債務不履行に陥り担保として受け取った原証券を処分する自らの権利を行使できない場合の損失リスクというリスクを負う。本ファンドは、財務書類において貸借対照表上、証券貸付担保（レポ取引に含まれる。評価額または制限付預金）を資産として計上し、証券貸付担保の返済義務を負債として計上している。

本ファンドは、本ファンドがデフォルト事由（例えば、破産または支払不能）等一定の状況下においてそれに基づく未払金および／または未収金を相手方との間で保有し、および／または差入れている担保をもって一括清算して本ファンドに対するまたは本ファンドからの一つの債権の支払いとすることを可能とするマスターレポ取引（以下「MRA」という。）に基づいて、各レポ取引を行う。

連邦所得税

本ファンドは、1986年内国歳入法（その改正を含む。）のM節の規定を遵守することにより連邦所得税法上の規制投資会社として認められ、またはその資格を保持し続けることを意図している。そのため、以下に記載されている場合を除き、財務書類において連邦所得税の引当は行われていない。

本ファンドは、本ファンドの税務申告書作成の際に採用し、または採用すると見込まれる税務上のポジションを評価し、そのポジションの制度上の利点に基づく課税当局による調査においてそれぞれの税務上のポジションが「高い可能性」で（具体的には半分以上の確率で）維持できるか否かを判断する。上記の高い可能性の基準を満たすとはみなされない税務上のポジションは、当該年度において税務上の便益または費用として計上される。本ファンドは今期中税務上のポジションを計上しなかった。税務上のポジションに関する経営陣の結論は、課税当局による調査（具体的には、（該当する場合）過去3年の課税年度終了時）ならびに税法および税規制ならびにその解釈の随時の分析および改正・変更を含み、かつこれに限定されない要因に基づいて後日の検証および調整を受ける場合がある。

外国において未了となっている税務申告が本ファンドにある場合、調査の対象となる課税年度は、本ファンドの開始まで遡る場合がある。

2023年10月31日現在および同日に終了した年度中、本ファンドに未認識の税制優遇措置に係る債務は存在していなかった。本ファンドは、未認識の税制優遇措置に関して利得および加算税がある場合、損益計算書上それを所得税費用として計上する。当該報告期間中、本ファンドにおいて利得または加算税は発生しなかった。

証券取引および投資収益

証券取引は、財務報告書において取引日付で記載されている。投資有価証券売却の実現損益を決定するための費用は、個別の認識に基づいている。配当収益は、配当落ち期日付で計上されている。利息収益は、決済日からの発生ベースで認識されている。プレミアムの償却およびディスカウントの増額は受取利息に含まれている。

外貨取引および換算

本ファンドの帳簿記録は、米ドル建てで管理される。外国通貨建ての投資証券およびその他の資産・負債は、評価日現在で米ドルに換算されている。投資証券の売買、収入および経費は、当該取引日現在の実勢為替レートで米ドルに換算されている。本ファンドは、証

券の市場価格の値動きに起因する変動のうち、為替レートの変化による実現・未実現の損益部分を分離しない。かかる損益は、損益計算書の正味実現・未実現損益に含まれている。外国為替取引および換算の正味実現・未実現損益は、外国通貨のスポット取引、外貨の処分、証券取引の取引日と決済日との間に実現した為替差益・差損ならびに投資収益の金額および外国の源泉徴収税の本ファンドの帳簿に記録される金額と実際に受領したまたは支払われた米ドル相当額との差額による外国為替損益の純額を表す。

シェア保有者に対する配当および分配金

本ファンドは、按分で投資収益を分配する。正味投資収益および正味実現キャピタル・ゲインは、年に一度以上分配される。すべての分配は、配当落ち期日付で記録される。

発行単位

本ファンドは、そのシェア（以下「シェア」という。）について、継続的に、NAV で、かつ 10,000 単位のまとまり（以下「発行単位」という。）でのみ、発行および償還を行う。NAV で発行単位を購入する者（以下「指定参加者」という。）は、取引毎に規定の発行取引手数料を支払わなければならない。手数料は、一回払いで、同日中に指定参加者が購入する発行単位の数にかかわらず同額である。発行単位を保有しており、その NAV での償還を希望する指定参加者は、当該償還日に、同日に償還される発行単位の数にかかわらず、取引毎に規定の償還手数料を BBH または BNY メロンのいずれか該当する方に支払う。発行単位が現金で購入または償還される場合、追加の各種手数料が課される場合がある。以下の表では、発行単位の詳細を開示している。

	発行単位の		2023年10月31日	
	シェア	発行手数料	現在の価額	償還手数料
グローバル X ウラニウム ETF	10,000	\$ 500	265,000	\$ 500

現金当座借越手数料

BBH との契約条件に基づき、本ファンドが特定の日現金の当座貸越を行った場合、該当する BBH 基準金利に 2.00%を加算した当座貸越手数料が請求される。BNY メロンとの契約条件に基づき、ファンドが現金の当座貸越を行った場合、BNY メロンが機関投資家のカスタディ顧客に対してその時点で請求している関連通貨の金利が課される。現金当座借越手数料は、損益計算書のカストディアン報酬に含まれている。

3. 関連当事者間取引およびサービス事業者取引

アドバイザーは、2018年7月2日付で、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ・カンパニー・リミテッド（以下「ミレー」という。）の間接的な完全子会社になる取引を完了した。アドバイザーは、これにより、ミレーの最終的な支配を受けている。

アドバイザーは、本ファンドの投資顧問および事務代行会社を務める。アドバイザーは、委員会の監督の下、本ファンドの投資活動の管理ならびに本ファンドの事業およびその他の管理業務を担当しており、一定の販売サービス（別途の販売代行契約に基づき提供される。）、シェア保有者および分配に関する一定のサービス（別途の規則 12b-1 プランおよび関連契約に基づき提供される。）および投資顧問業務（別途の投資顧問契約に基づき提供される。）を含め、原則として「すべて込み」の手数料体系の下、あらゆる監督、事務および本ファンドの業務に合理的に必要なその他のサービスを提供し、または提供させる。本ファンドは、アドバイザーによる本ファンドへのサービスにつき、監督・事務管理契約（以下「監督・事務管理契約」という。）に基づいて、下記の年間料率（本ファンドの日々の純資産に対する割合で表示されている。）でアドバイザーに対し月額手数料を支払う（以下「監督・事務管理手数料」という。）。本ファンドはさらに、直接または間接に、税金、仲介手数料、委託手数料、一定のカストディアン報酬、取得ファンドの手数料ならびにその他取引費用、利息費用および特別経費（訴訟・補償費用等）等の監督・事務管理契約に含まれないその他の経費を負担する。かかる経費には増減があり、本ファンドの総経費率に影響を与えることがある。

以下の表では、監督・事務管理契約に基づき支払われる監督・事務管理手数料を開示している。

監督・事務管理手数料

グローバルX ウラニウム ETF

0.69%

SEI インベストメンツ・グローバル・ファンズ・サービスズ（以下「SEIGFS」という。）は、本ファンドの復事務代行会社を務める。SEIGFSは、復事務代行会社として、必要な管理サービス全般（事務所スペース、設備および人員、事務およびバックオフィスサービス全般、記帳代行、内部会計および事務局サービス、NAVの計算ならびに報告書、登録書、議決権行使勧誘書類およびその他連邦および州の証券法に基づき本ファンドによる届出または交付が必要な書類の作成および提出の支援を含み、かつこれに限定されない。）のすべてを本ファンドに提供する。SEIGFSは、上記サービスの対価として、日毎に発生し、アドバイザーから月毎に支払われる、一定の現金払費用、取引手数料および資産に基づく手

数料を受領する。

SEI インベストメンツ・ディストリビューション・カンパニー（以下「SIDCO」という。）は、本ファンドの引受業者および販売委託契約（以下「販売委託契約」という。）に基づく発行単位の販売業者を務める。SIDCO は、本ファンドのシェアについて特定の数量を販売する義務を負わない。SIDCO は、シェアの販売に関して以下の費用および経費を負担する。(1) 発行単位の発行記録の作成および維持にかかる費用、(2) 登録ブローカー／ディーラーに求められる記録の維持に係る費用の一切、(3) 連邦法または州法に基づくディーラーまたはブローカーとしての登録または認可を維持するための経費、(4) 届出費用、および(5) 販売委託契約において企図される販売サービスに関連して発生するその他一切の経費。SIDCO は、販売委託契約に基づく販売サービスについて本ファンドからの報酬を受領せず、それに代えて、アドバイザーが SIDCO に対し、一定の経費、現金払費用および取引手数料を支払う。

BBH は、本ファンド資産の名義書換代理人およびカストディアンを務める。BBH は、カストディアンとして、以下に同意している。(1) 本ファンドを代理して金銭の受領および支払いを行うこと、(2) 本ファンドのポートフォリオ投資に起因するすべての収入およびその他支払いならびに分配金の回収および受領を行うこと、(3) シェア保有者、証券ブローカー等からのその業務に関する問合せに対応すること、ならびに(4) 本ファンドの業務に関して本ファンドに定期的な報告を行うこと。BBH は、証券の売買について一切の監督機能を行わない。これらのサービスの対価として、BBH は、アドバイザーがその報酬から、日毎に発生し月毎に支払う、一定の自己負担費用、取引手数料及び資産関連手数料を受領する。BBH は、名義書換代理人として、以下に同意している。(1) 本ファンドのシェアの発行および償還を行うこと、(2) 本ファンドのシェア保有者に対する配当およびその他分配を行うこと、(3) シェア保有者等からのその業務に関する問合せに対応すること、(4) シェア保有者の口座を維持すること、ならびに(5) 本ファンドに定期的な報告を行うこと。BBH は、上記サービスの対価として、日毎に発生し、アドバイザーから月毎に支払われる、一定の現金払費用、取引手数料および資産に基づく手数料を受領する。

4. 投資取引

2023年10月31日に終了した年度について、現物取引、長期米国債および短期証券を除く証券投資の売買は以下のとおりであった。

	購入	売却および満期
グローバルX ウラニウム ETF	\$ 348,416,810	\$ 329,470,731

2023年10月31日に終了した年度について、発行および償還に関連する現物取引は以下のとおりであった。

	購入	売却および満期	実現利益（損失）
グローバルX ウラニウム ETF	\$ 449,927,608	\$ 331,902,126	\$ 63,151,110

2023年10月31日に終了した年度について、長期米国債の本ファンドによる売買はなかった。

5. 税に関する情報

支払われる収入およびキャピタル・ゲインの分配がある場合、その金額および性質は、連邦所得税規制（米国 GAAP とは異なる場合がある。）に従って決定される。それにより、ある報告期間について投資取引に関する正味投資利益（損失）および正味実現利益（損失）が、当該期間中の分配と大きく乖離することがある。これらの帳簿／税の乖離は一時的な場合もあれば恒常的な場合もある。これらの乖離がその性質上恒常的なものである場合、当該乖離が生じた期間の未分配の正味投資利益（損失）、累積正味実現利益（損失）または払込資本のいずれか適切な科目に計上されている。

主に現物償還、パッシブな外国投資会社の売却および純営業損失および資本の返還分配金に起因する以下の差分は、2023年10月31日に終了した会計年度中、以下の勘定間で再分類されている。

	払込資本	分配可能利益（損失）
グローバルX ウラニウム ETF	\$ 47,480,297	\$ (47,480,297)

2023年10月31日および2022年10月31日に終了した各年度中に宣言された配当および分配についての課税区分は以下のとおりであった。

		経常利益	長期キャピタル・ゲイン		資本の払戻し	合計
			ン			
グローバルX ウラニウム ETF	2023	\$ 3,660,937	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 3,660,937
	2022	74,869,077	-	-	-	74,869,077

2023年10月31日現在、課税基準である累積損失の内訳は以下のとおりであった。

	グローバルX ウラニウム ETF	
未分配経常利益	\$	141,416,179
資本損失繰越控除		(533,820,062)
投資および外国通貨に関する未実現増価（減価）		40,064,098
その他一時的差異		2
分配可能収益（累積損失）合計	\$	(352,339,783)

2010年12月22日より後に開始した各課税年度について、1940年法における意味での規制投資会社は、将来の実現キャピタル・ゲインを相殺するために正味資本損失を繰り越すことができ、繰り越された損失は、長期損失または短期損失いずれかの当初の性質を維持する。かかる規定に基づき繰り越された損失は以下のとおりである。

	短期損失	長期損失	合計
グローバルX ウラニウム ETF	\$ 146,284,604	\$ 387,535,458	\$ 533,820,062

2023年10月31日現在、本ファンドが保有していた投資に係る連邦所得税費用ならびに総未実現増価および総未実現減価は以下のとおりであった。

	連邦税費用	総未実現増価	総未実現減価	正味総未実現 増価（減価）
グローバルX ウラニウム ETF	\$ 2,338,919,786	\$ 482,358,610	\$ (442,294,512)	\$ 40,064,098

帳簿と税費用との間の上記差額は、主に受動的外国投資会社の時価評価扱いおよびウォッシュセールに起因する。

6. リスクの集中

本ファンドは、様々な国の外国の発行者の証券に投資する。これらの投資には、とりわけ、各国における将来の政治経済の展開ならびに政府による監督の強度および証券市場規制に起因する、通常米国での投資には伴わない考慮事項およびリスクが伴うことがある。

新興市場各国の証券市場は、米国の証券市場に比べて流動性が低く、価格変動が激しく、時価総額が小さい。一部の国々では、公に取引される有価証券が少なく、市場が少数の発行体や業界に支配されていることがある。そうした国々の発行体および証券市場については、会計、財務およびその他の報告義務が米国の発行体および証券市場ほど広範かつ頻繁でなく、政府による規制が米国の発行体および証券市場ほど包括的でない。とりわけ、新興市場国の発行体の財務諸表に記載されている資産および利益は、その財務上のポジションや業績の反映の仕方が米国の発行体の財務書類とは異なる場合がある。新興市場国の発行体に関する公開情報は、米国の発行体についての公開情報に比べて大幅に少ない可能性がある。

本ファンドは、投資対象の国の課税対象となる可能性がある。そうした税は通常、獲得または本国送金した利益または収益のいずれかに基づく。本ファンドが利益および／またはキャピタル・ゲインを得る際に当該税は発生し、本ファンドは、正味投資利益、正味実現利益および正味未実現利益について上記の税を適用する。

本ファンドは、レプリケーション戦略を用いる。レプリケーション戦略とは、対象インデックスと凡そ同一の割合で、対象インデックスの証券への投資を行うインデックス戦略である。本ファンドは、対象インデックスに倣って株式のポートフォリオを組み立てるのに実務的困難や相当な費用が伴う等、レプリケーション戦略がシェア保有者に悪影響をもたらす可能性がある場合、または、場合によっては、対象インデックスに含まれる有価証券が一時的に非流動的、入手不能になり、もしくはその流動性が低下した場合、または法律により制限される場合（対象インデックスには適用されないものの本ファンドに適用される分散投資要件等）、その対象インデックスに関して代表サンプル戦略を用いることができる。コモディティ関連証券は、特定のコモディティ市場の変動の影響を受けやすい。コモディティ市場におけるあらゆるネガティブな変化は、本ファンドに多大な影響を及ぼす可能性がある。

一部の本ファンドは、商品関連証券に投資する場合があります、これらは特定の商品市場の変動の影響を受けやすい。商品市場にマイナスの変化が生じた場合、これらの証券に大きな影響を与える可能性がある。

一部の本ファンドは、変動金利計算の参照レートまたはベンチマーク・レートとしてロンドン銀行間取引金利（以下「LIBOR」という。）を利用する金融商品に投資している場合がある。LIBOR は、一般的に銀行が無担保で関連通貨を相互に貸し借りできるレートを測定することを意図している。LIBOR を監督する規制当局である英国金融行為規制機構（以下「FCA」という。）は、2022年1月1日をもってLIBOR金利の大半の公表を停止するか、同日以降代表レートでなくなることを発表した。大半のLIBORレートの公表は2021

年末に終了し、その他の米ドル LIBOR レートは 2023 年 6 月以降公表されなくなった。継続中の LIBOR からの移行と、本ファンドおよび本ファンドが投資する金融商品に対するその影響に関連する不確実性とリスクは依然として存在する。代替参照金利（以下「ARR」という。）もしくは ARR を利用する本ファンドが投資する金融商品の構成または特性が、LIBOR と類似している、または LIBOR と同等の価値もしくは経済的同等性を生み出す保証も、これらの金融商品が同様の数量または流動性を有する保証もない。さらに、2021 年 12 月 31 日以前に発行または締結された一部の「レガシー」米ドル LIBOR 商品および米ドル LIBOR が最終的に廃止された場合に代替金利が特定され、これらの商品に導入されるプロセスに関する不確実性とリスクが依然として存在する。2022 年 12 月 16 日、連邦準備制度理事会は、変動金利法の施行規則を採択した。同規制は、2023 年 6 月 30 日以降の特定の金融契約において、LIBOR に代わる担保付翌日物調達金利（以下「SOFR」という。）に基づくベンチマーク金利を特定することで、LIBOR に代わる法定代替メカニズムを提供するものである。

これらの規制は、他の制限の中でもとりわけ、米国法に準拠する契約にのみ適用される。本ファンドは、将来公表されなくなる可能性のある他の銀行間取引金利に連動する商品を保有する可能性がある。本ファンドが保有する「レガシー」米ドル LIBOR 商品におけるそのような不確実性やリスクの影響は、本ファンドに損失をもたらす可能性がある。より完全なリスクの説明については、本ファンドの目論見書および追加情報説明書（以下「SAI」という。）を参照。

7. 投資有価証券の貸付

本ファンドは、その総資産の市場価値の 3 分の 1 を上限として投資している有価証券の貸付を行うことができる。BBH および BNY メロンとの証券貸付契約に基づいて行われる有価証券の貸付は当初、国内の有価証券および米国預託証券（以下「ADR」という。）についてはその価値の 102%以上、その他外国証券（ADR を除く。）についてはその価値の 105%以上に相当する価値の担保によって保証される必要がある。上記の貸付に関連して受領する担保は現金であり、レポ取引、短期投資または米国債券に投資される場合があり、投資一覧および貸借対照表に記載される。証券貸付の担保を返済する義務は、貸借対照表においても債務として記載される。本ファンドは、貸付有価証券の評価日の後、その翌営業日の終了までに、借主から追加の担保を受領し、借主に余剰担保を返却することをその方針としている。したがって、保有担保の価値は、貸付有価証券の価値を一時的に下回ることがある。

証券貸付に関連して受け取った現金担保は、貸付代理人によりレポ取引および短期投資に投資される。本ファンドは現金以外の担保については実質的支配が及ばないため、本フ

ンドの投資一覧では開示していない。

有価証券貸付取引は有価証券貸付契約に基づき本ファンドにより締結され、債務不履行が発生した場合など一定の状況下で、本ファンドが取引相手に対して支払うべき金額と、その取引相手から受け取るべき金額とを相殺し、本ファンドが授受すべき正味金額での支払いを行い、または受領することが認められている。

以下は、2023年10月31日現在、相殺の対象となる翌日満期の現金担保および非現金担保付きで、本ファンドが保有する証券貸付契約の概要である。

	グロス計上額			差引額
	(貸出有価証券の価値)	受領現金担保の価値 ⁽¹⁾	受領非現金担保の価値 ⁽¹⁾	
グローバル X ウラニウム ETF	\$ 89,600,381	\$ 89,600,381	\$ -	\$ -

(1) 貸付有価証券の時価を超える担保および非現金担保の受領額は、本表には表示していない。本ファンドが受け取った現金担保の総額は、貸借対照表に開示されている。

2023年10月31日現在の貸付有価証券および関連担保の残高は、投資一覧に記載されている。保有する担保の価値は、貸付契約に基づく必要額を一時的に下回る可能性がある。2023年10月31日現在、現金担保はレポ取引で運用されており、非現金担保は米国財務省証券、債券、米国財務省インフレ連動債で構成され、その満期は以下のとおりである。

	翌日満期および継続		30日以上90日以下		合計
	30日未満	90日超	30日未満	90日超	
グローバル X ウラニウム ETF					
レポ取引	\$ 97,610,396	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 97,610,396
合計	\$ 97,610,396	\$ -	\$ -	\$ -	\$ 97,610,396

8. 契約上の義務

本ファンドは、その通常業務の過程で様々な補償を定めた契約を締結する。これらの取り決めに基づく本ファンドのエクスポージャーの上限は未知数である。但し、本ファンドは、これらの契約に基づく事前の利益または損失を負っていない。経営陣は、本ファンド

の既存の契約について検討済みであり、損失リスクは低いと見込んでいる。

本トラストの設立書類に基づき、本トラストの受託者（以下「本受託者」という。）および本トラストの役員は、自らの職務遂行に起因して生じる可能性がある責任の一部について補償を受ける。

9. 後発事象

本ファンドは、後発事象に起因する追加的開示および／または調整の必要性に関して経営陣による評価を受けている。この評価に基づき、財務書類について新たな調整は必要とされていない。